



JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取組みを展開しています。

いつでもどこでも、みんなのJA

# 変わるJA 広がる地域のぎずな

監修=広島大学 助教 小林元

**Q** JAの正組合員と准組合員の違いって何？

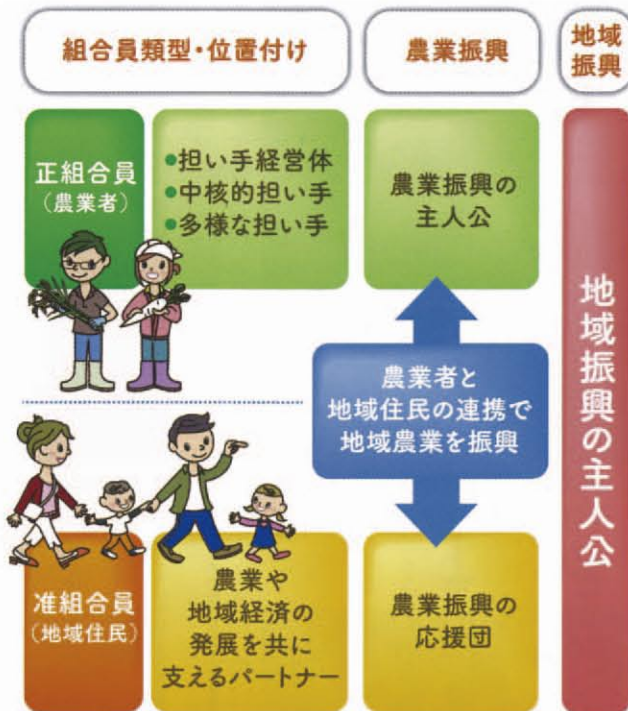
**A** 正組合員は農業の主人公、准組合員は地域を豊かにする協同の仲間です。

JAの組合員は、農協法の中で、正組合員と准組合員に区分されています。JAの正組合員は、農業を営む人々や農業で働く人々、そして農家の家族のみなさんです。協同の力で豊かな農業を育むと共に、消費者に安全で安心な農畜産物をお届けすることで、わが国の食と農を守り、農業を通じて地域を豊かにする主人公、それがJAの正組合員です。

対して、農業に直接的に関わるものがあまりない人々も含めて、だれでもJAの総合事業を利用できるように、准組合員という仕組みがあります。准組合員は、事業を利用するだけではありません。正組合員がつくった農産物を食べる人々でもあり、地域農業を、食を通じて支える大事な仲間です。中には、食べるだけでなく、一緒に農業に関わる准組合員も増えています。

現在の制度では、JAの運営は正組合員が中心となっています。これからは対話を通じて、准組合員の声もJAの運営に反映することが大事になっています。

(JA広報通信より)



耕そう、大地と地域の未来。

## JA広島市の自己改革

### 食と農をつなぐ「つながりの場」

地域で生産された農畜産物をその地域で消費する「地産地消」。ファーマーズマーケットをはじめとする産直市は、食と農をつなぐ、生産者と消費者の「つながりの場」として、地産地消の促進において重要な役割を果たしています。

JA広島市の農彩館 五日市ファーマーズマーケットでも、地元産の農畜産物を地域のみなさまにより知っていただくため、さまざまなイベントを行っています。

8月には子どもたちに地元の農畜産物を知ってもらおうと、夏休み特別企画として4日に五日市ファーマーズマーケット出荷組合による親子料理教室を開催。21人の親子が参加して焼肉のたれを作りました。また、26日には五日市中央支店が「親子で簡単ラップdeおむすび教室」を開催し、午前・午後合わせて18組38人の親子が参加して、かわいい簡単おむすびづくりに挑戦しました。



▶ファーマーズマーケット出荷組合 提供の野菜を使って焼肉のたれづくりに挑戦



▶管内産のお米で簡単おむすびづくり。お弁当が楽しくなるね